





『んんぐううッ!?!?あッ、んんぐううッ、んんあああッ!?!?』

無機質な実験室に正義のヒーローの叫び声が響く。

膝下から足先と肘から指先、上半身の側面を覆う光沢あるグリーンのスーツと、喉仏が突き出た男らしい太い首から膨らんだ太腿まで、盛り上がった筋肉を誇示するかのように密着するホワイトのスーツ。胸元に輝く緑のクリスタルはいまだ力強い光を放っているが、正義のパワーの象徴だったヒーロースーツはもはや肉体の卑猥さを強調するアイテムでしかない。四肢を拘束され身動きが取れない状態で藻掻くたび、肉体のラインがくつきりと浮かび上がる。

『な、なんのこれしきッ……自分はッ……ソリッドグリーンはこんなことぐらいでええええあああッ!?!?!?わ、腋イッッ!?!?』

盛り上がった力こぶを見せる腕と肩は動きやすさを重視して露出しているため、後頭部に両手が一括りにされた今となつては腋という性感帯を無防備に全開にすることになる。じつりと汗ばんだそこを舐められてしまえば、快感と共にヒーローエナジーがペニスを通じて吸い上げられていく。

『あッ!! ああッ!!!…自分の、チンポがッ…包まれてッ…ああッ、んんぐううッ、イグッ、イってしまッうッ!?!?!?』

ビキニパンツのシルエットを思わせるように深緑にカラーリングされた股間部分のスーツは破られ、ギンギンに勃起した大人の男の熟成ペニスは筒状の機械に呑み込まれて絶えず快感を与えられ続けていた。どくどくと白濁した精液が吐き出される度に下腹部の奥底から一滴残らず吸い上げるようなエナジードレインが行われ、いけないと頭では分かっているが幾度となく与えられる快楽に誠司の心身は服従させられていく。

(『射精するたびに俺の中からヒーローエナジーと共に、何か…何か大切なものが奪われていく…!』このままではマズいと分かっているのに、射精が止まらないッ…チンポから精液出すのが止められないいッ……!!)』

—————洗脳率28%から35%へと上昇。目標値の31.5%をオーバー。洗脳パルスの出力を強化します。

『んんんッ!?!?!?ぐっほおおおんんぐううほおおおおおおんぬううあああッあああ!!!?お、お、おおお、おッ!!!!や、やめろ、お、ッ!射精るッ!!!!種汁射精るッ!!!!射精るッ!んんあああッ!エナジー、がああああああッ!!!!』

耳から脳へと侵入した極細のコードが洗脳パルスを発することで強制的に射精を行わせる。誠司の精神を一気に壊してしまわぬよう慎重に、しかしヒーローとして快感に抗おうとする理性は容赦なく破壊されていく。力強い脚力を産み出す大きな臀部には性器を模した機具がずちゅっ、ずちゅっ、と出し入れされ、肛門での快楽を味わわせると共に男の急所である前立腺を正確無比に捕えては洗脳パルスが流し込まれる。

『やめッ……やめろおおおおおおッおッおッ!!!!!!んんくああッ、んんはああッ、んんくうああッ、ああああッ、ぎも、ぎもちい、いいッ!!漏れッ、漏れるッ!!!!』

—————洗脳率45%……淫紋の発現を確認……58%……72%……。

洗脳率の上昇と共にヒーローらしからぬ卑猥な言葉を口にするようになっていく誠司。頭、内腿、腋、大胸筋…と誠司の身体に取り付くコードの数も増えていく。快感の証か、必死の抵抗の証か、ピン、と突き出していた色素の薄い乳首にも吸盤状のコードが吸い付いてしまえば、胸元に輝く緑のクリスタルの光はついにくすんでいき、額の中央、そしてヒーローエナジーを蓄えた男の象徴である大きめの金玉にも、紫色のタトゥー……淫紋が浮かび上がってくる。

『射精るッ!!射精るッ!!!!んんぐううッ、チンポッ、信玄おチンポせい汁出ちまッ!!!!?おチン射精ちちまううんんほおおんんぬふッほおおおんおおおんおおんおおおあああッあんんん!!!!』

正義のヒーロー・ソリッドグリーンの洗脳敗北の瞬間は刻一刻と近づいてきていた。



